

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果報告書
(令和2年度実績)

御代田町教育委員会

— 目 次 —

I 点検・評価の概要	
1 はじめに	1
2 目的	1
3 対象事業の考え方	1
4 点検・評価の考え方	1
5 意見等の活用	2
II 点検・評価の結果	
(基本方針・主要施策)	
・地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進 義務教育の振興	3
・いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進 生涯学習の推進	10
・スポーツへの主体的な取り組みの推進 生涯スポーツの振興	19
スポーツ施設の整備	21
・文化と芸術の織りなす地域づくりの推進 文化・芸術の振興	22
・次代と郷土を担う人材育成 奨学金制度の見直し	23
III 教育委員会活動	24

I 点検・評価の概要

1 はじめに

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられたことに伴い実施するものです。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、教育次長以下の職員で構成される事務局を、様々な立場の複数の教育委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 対象事業の考え方

本年の点検・評価の対象事業は、前年度である令和2年度分の事業実績としました。その対象範囲は、学校教育、生涯学習、文化振興及び体育振興に関することなど地教行法第21条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務など、本委員会が所管する全ての事務としました。

事業のまとめ方については、第5次御代田町長期振興計画の施策体系により、施策の柱・基本方針及び主要施策を踏まえつつ、教育委員会が行っている主な事業を網羅する形で該当事業を選定しました。

4 点検及び評価の考え方

対象事業の点検については、事業評価シート「2. 施策に該当する事業」欄の事業の内容（対象、実施状況、結果等）と「4. 施策に対する現状の課題、改善策等」の記述に反映させました。

評価については、事業評価シート「3. 事業評価の凡例」のとおり、事業の必要性、事業の妥当性、事業の成果、事業の効率性、事業の方針の5つの観点から評価を行い、評定では、A・B・C・D・E・Fの順に3から6段階に分けて自己評価を行いました。

5 意見等の活用

点検評価の客観性を確保し、かつ広い観点からの意見を求めるため、教育経験者や地域住民のために貢献されてきた団体の責任者等からご意見をお聴きする機会を設け、様々なご意見並びにご助言をいただきました。

ご意見をいただいた方々は次のとおりです。

(敬称略)

(氏名) (所属等は令和3年8月時点)

柳沢 充夫 御代田町民生児童委員協議会 会長

原田 千万 御代田町東原児童館 館長

大井 睦雄 御代田町スポーツ協会 副会長

尾台 羊一 こども自然探検隊 委員長

田中 みどり 御代田町立図書館ボランティアフレンズ
おはなしの会 リーダー

6 点検評価実施日

令和3年9月3日(金) エコールみよた 大会議室

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進
主要施策	義務教育の振興(学校教育の充実)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 授業改善に向けた支援事業	<p>教員としての基本的な資質の能力を更に向上させることにより、児童生徒の人間力・学力向上に繋げるため、「教職員研修会」を例年実施していますが、新型コロナウイルスの影響のため中止にしました。</p> <p>授業改善並びに教員の資質向上を図ることにより、児童生徒の健全育成に繋げるため、指導主事を任用し、巡回による訪問指導をしています。日頃の授業を通して、教員としての能力(授業力・生徒指導力・学級経営能力)を更に向上させるため、教員を対象とした授業改善に向けた授業づくりの支援を行っています。</p>
事業費 2,270千円	(事業の自己評価) 必要性 = A 妥当性 = A 成果 = A 効率性 = B 方針 = B
2 学力向上事業	<p>小学校における学力テスト(CRT:絶対評価法による検査)では、基礎的・基本的な学習内容の到達状況を適切に把握することができます。</p> <p>中学校における学力検査(NRT:相対評価法による検査)では、生徒の学力実態や課題を把握し、学習支援や指導の工夫・改善を行っています。</p> <p>これら各種検査により、学年・学級の習熟度や個々の実態把握をすることができ、学習指導・学力向上に繋げています。</p>
事業費 1,669千円	(事業の自己評価) 必要性 = A 妥当性 = A 成果 = A 効率性 = A 方針 = B
3 公設学習塾事業	<p>【ステップアップ塾(小学4年生から中学2年生対象)】 [事業費]678千円</p> <p>令和2年度から寺子屋塾の名称をステップアップ塾に統一変更し、小学校4年生から中学2年生までの児童生徒を対象に水曜日の放課後に開講しています。学習習慣の定着や基礎学力を向上させることを目的とした上で、できるかぎり個々の進度に合わせた指導を行い、学年ごとにテキストを活用して学習しています。講師は、教員や塾講師経験のある方をお願いしています。</p> <p>[小学校] 開催回数：水曜日の放課後(9月から3月まで 20回程) 教科：算数 参加人数：北小学校 4年 9名・5年11名・6年3名 合計23名 南小学校 4年15名・5年18名・6年8名 合計41名</p> <p>[中学校] 開催回数：水曜日の放課後(10月から3月まで 21回程) 教科：数学か英語のどちらか1教科 参加人数：中学1年：27名(英語：14名、数学：13名) 中学2年：13名(英語：5名、数学：8名)</p> <p>【夢サポート塾(中学3年生対象)】 [事業費]4,358千円</p> <p>株式会社トライグループへ業務委託し、公設学習塾「夢サポート塾」を御代田中学校で実施しました。夢サポート塾では、「学習意欲の向上」と「学力の向上」を目指すとともに、志望校に合格できるよう、習熟度別・少人数制の指導により、家庭教師のトライの講師とともに専属スタッフがバックアップするサポート体制で行いました。</p> <p>[参加者数] 65名 [授業形態] 習熟度別に編成した少人数制の指導(1クラス概ね9名) [実施回数] 毎週土曜日(10月24日から3月6日までの全21回) [教科・時間] 数学及び英語・1コマ70分×2教科</p>
事業費 5,036千円	(事業の自己評価) 必要性 = A 妥当性 = A 成果 = B 効率性 = B 方針 = A

<p>4 相談員・支援員配置事業</p>	<p>学習支援や発達障がいに対する支援や不登校対策に対応するため、町費の学習支援員等を配置しています。配置により、小・中学校が連携し児童生徒の実態把握や学習支援、個別指導、家庭訪問等のサポート体制を構築し支援しています。令和2年度は心の相談員が小学校を訪問し気にかけておきたい児童と関わることにより、中学進学後スムーズに学校生活が送れるよう、両小学校と連携し相談業務を実施しました。</p> <p>中学校敷地内に中間教室を設置し、町費の指導員を配置する中で、相談員や特別支援学級と連携した支援を行っています。</p> <p>[北小学校] 学習支援員4名 [南小学校] 学習支援員5名</p> <p>[中学校] 学習支援員1名、心の相談員2名、中間教室指導員1名、不適応支援員1名</p>
<p>事業費 17,959千円</p>	<p>(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= A</p>
<p>5 教育支援事業</p>	<p>教育委員会には、障がいのある子どもの就学先決定の権限と責任があります。障がいのある子どもとその保護者に十分な情報提供を行うとともに、その意向を可能な限り尊重しています。</p> <p>幼児、児童、生徒が義務教育を受けるにあたり、就学先についての相談を受ける場と適切な支援を行なうことを目的に教育支援委員会を設置しています。早期からの相談を通して、保護者に対して十分な情報を提供するとともに、教育支援委員会では、本人や保護者の意向を最大限尊重した上で総合的に就学先を判断しています。</p> <p>【教育支援委員会 延べ相談件数:28件】</p>
<p>事業費 9千円</p>	<p>(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B</p>
<p>6 人権教育事業</p>	<p>小学校における人権教育の取り組みとして、人権教育月間を設定し、心の集会(人権教育集会)、児童と教職員の人権意識チェックなどを行っています。</p> <p>中学校では、人権教育月間に、人権に関わる校長講話や外部講師による講演会、各学級での集中指導などを行っています。(令和2年度の外部講師は実施なし)</p> <p>小中学校の教育活動を通じて、人権教育が推進されるよう取り組み、学級での授業をとおして学ぶことのほか、学年の段階に応じて人権意識を高めるよう取り組んでいます。</p>
<p>事業費 0千円</p>	<p>(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= A 成果= B 効率性= A 方針= B</p>
<p>7 英語学習事業</p>	<p>小学5・6年では、児童が英会話に慣れる体験や学習を行う中で、「読む・聞く・話す・書く」の4技能を育み、言語や文化に対する理解を深めながら、中学の英語に繋げる学習をしています。</p> <p>中学校における外国語教育の充実とコミュニケーション能力の向上を図るため、「読む・聞く・話す・書く」の4技能を養うとともに、基礎的・実用的な語学力の習得を目指して語学指導を行っています。また、課外活動における中学校英語弁論大会に向けて、外国人講師による指導を行うなど、精力的に活動しています。</p> <p>[小学校] 外国人講師1名(北小・南小兼務)</p> <p>[中学校] 外国人講師1名</p>
<p>事業費 5,865千円</p>	<p>(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= A</p>
<p>8 安全確保事業</p>	<p>教育委員会では、警察、道路管理者、学校、PTAによる通学路安全推進会議を設置し、御代田町通学路交通安全プログラムを策定しています。本プログラムに基づき、通学路合同点検と危険箇所合同点検を隔年で実施しています。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、合同ではなくそれぞれの関係者が個別に通学路の点検を7月に実施しました。点検では、通学路における危険箇所を把握するとともに、関係機関へ危険箇所の改善に対する要望書を提出しました。</p> <p>県道における改善要望に対する結果として、濁川に架る橋(ヤカクラ御代田店付近)の欄干を新しいものに交換してもらいました。</p>
<p>事業費 0千円</p>	<p>(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= A</p>

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している	B:横ばい	C:減少している	
事業の妥当性	A:妥当である	B:ほぼ妥当である	C:あまり妥当ではない	D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている	B:やや上がっている	C:あまり上がっていない	D:上がっていない
事業の効率性	A:高い	B:やや高い	C:やや低い	D:低い
事業の方針	A:拡大	B:現状のまま継続	C:改善後継続	D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<p>・例年、児童生徒の学力向上に向けた教員対象とした資質向上の研修として、教職員対象に研修を実施しているところ です。しかし、新型コロナウイルスに影響した休校措置による授業時数の確保や感染症対策のため研修は中止にしま した。今後、コロナ禍において研修の開催方法など検討する必要があります。</p> <p>・放課後学習塾「ステップアップ塾」は、児童生徒の学習内容を定着させるためには、つまづいてしまった学習内容に戻っ て学び直すことや、同じ内容を繰り返し学習することも必要となります。より一層、個々の実態や学習進度に応じた指導 を行う必要があります。</p> <p>・公設学習塾「夢サポート塾」は、中学の総復習として中学1年生から3年生の学習内容の基礎固めを順序よく講義形式 で教えていく形を取りました。高校受験を控えていることから、受験対策に絞って対策するなど、今までの総復習に加え て受験問題の傾向を踏まえた入試問題の解き方など実践的に進めていく必要があります。</p> <p>・発達障がいや学習に関するさまざまな課題を持つ児童生徒への支援の必要性は高いため、児童生徒の状態に応じ、今 後もできる限りの支援を継続していきます。公認心理師による教育相談（発達検査・保護者との相談など）により発達上 問題ないか数値的にも把握しています。発達に課題のある児童について、町保健師と連携し、医療に繋げることができ ているものの、支援の過程において家庭との合意形成を丁寧に進める必要があります。</p> <p>・教育支援事業を通じて、就学前に関わる相談、就学後の適切な教育や一貫した教育支援を進めています。町保健福祉 課における、健診を通じて、支援を必要とする未就学児の把握と障がいのある子どもやその保護者に対する相談・支援 体制をより一層充実させることが課題となります。</p> <p>・小学校では、令和2年度から英語（5・6年生）が教科化されています。「読む・聞く・話す・書く」の4技能をバランスよく育 み、中学の英語に繋げる学習を行わなければなりません。中学の英語では更に実践的に高めていくという繋がりがある ため、小学校における英語専科教員を中心に4技能を養うことが重要となります。</p> <p>・危険箇所の改善について、全ての箇所が改善できるものではないものの、緊急性が高い箇所は重点的に対応していく 必要があります。今後も新型コロナウイルスの影響により、関係者が一堂に会することが難しい場面も想定されるものの、 児童生徒の安全確保は必要不可欠であるため、関係機関と連携を図りながら継続した安全点検に努めます。</p>

5. 識者からの意見

<p>・公設学習塾事業はそれなりに成果が出てきていると思われるが、公教育との関係性もあることから配慮しながら事業を 進めるとよい。</p> <p>・放課後学習塾「ステップアップ塾」は昨年度より参加者数が減少している学校があるため、一人でも多くの子どもたちが 参加できるよう、呼びかけを強化するとよい。</p> <p>・小学校や中学校における学習支援員の配置は良いことであり、年々需要は高まっている。児童生徒の特性に配慮した 途切れのない支援をお願いします。</p> <p>・危険箇所の改善は、安全点検並びに関係機関との連携を図りながら、児童生徒の安全、安心のためにも継続した取り 組に努めるとよい。</p>

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進
主要施策	義務教育の振興(学校教育施設・設備の整備充実)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 GIGAスクール構想事業	文部科学省が提唱するGIGAスクール構想では、ICT技術を活用することにより多様な課題を解決する資質と能力を高めることが求められています。ICT機器であるパソコンを活用した授業や学習を進めていくため、学校情報通信ネットワーク環境整備(校内無線LAN)を実施しました。併せて、災害時に避難者が体育館でインターネットに接続できるよう、公衆無線LANのアクセスポイントを無料で開放する「0000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」を整備しました。 【整備内容】全ての教室・体育館・職員室に校内無線LAN整備[51,700千円]
	事業費 51,700千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
2 御代田北小学校施設改良工事	児童が使用するブランコの座面が経年劣化により傷んでいるため、児童が安全に使用できるよう、交換を行いました。 【改修内容】ブランコ座面部:3箇所[176千円]
	蛍光灯照明器具の安定器の故障により、故障した照明器具のみLEDに交換しました。 【改修内容】照明器具:10箇所[250千円]
	受水槽配管における凍結防止帯の電気系統に不具合が生じたため、交換修繕を行いました。 【改修内容】受水槽配管保温交換一式[203千円]
	雨漏りによる施設の劣化を防ぐため、屋根部の防水シートの修繕を行いました。 【改修内容】屋上雨漏り修繕一式[194千円]
	事業費 823千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B
3 御代田南小学校施設改良工事	校内放送設備システムの故障により、校内における音声放送や映像配信に支障をきたしていることから放送設備機器の交換工事を行いました。 【改修内容】校内放送設備システム機器一式[3,080千円]
	体育館トイレの大便器は和式であることから、児童並びに学校開放時における一般利用者が使用する上で支障をきたしているため、洋式便器への交換工事を行いました。 【改修内容】洋式便器交換工事:3箇所、他一式[1,408千円]
	理科室の児童用実験台は、開校以来使用しているものであるため、使用及び経年劣化により机が傷んでいたため、新しい実験台に交換しました。 【改修内容】児童用実験台:6台、他一式[2,860千円]
	体育館照明並びに蛍光灯照明器具の安定器の故障により、故障した照明器具のみLEDに交換しました。(体育館は水銀灯ランプのまま) 【改修内容】体育館:7箇所、教室照明器具:17箇所[584千円]
	児童が使用するブランコの座面が経年劣化により傷んでいるため、児童が安全に使用できるよう、交換を行いました。 【改修内容】ブランコ座面部:2箇所[132千円]
	事業費 8,064千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=A 方針=B

4 御代田中学校 施設改良工事	教室入口の引き違い扉は木製であることから、扉下部に亀裂などの破損が目立つため、ステンレスプレートによる補強工事を行いました。						
	【工事内容】教室引違扉補強工事:55箇所、他一式[880千円]						
	エレベーターの定期点検により、停電時におけるバッテリーの交換が指摘されたことから交換修繕を行いました。						
	【改修内容】エレベーターバッテリー他交換修繕一式[384千円]						
	学校施設内におけるトイレやエントランス排煙窓の開閉に故障が生じていることから、修繕を行いました。						
【改修内容】トイレ:5箇所、エントランス排煙窓:4箇所、他一式[321千円]							
事業費	1,585千円	(事業の自己評価)	必要性 = A	妥当性 = A	成果 = A	効率性 = A	方針 = B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している	B:横ばい	C:減少している			
事業の妥当性	A:妥当である	B:ほぼ妥当である	C:あまり妥当ではない	D:妥当ではない		
事業の成果	A:上がっている	B:やや上がっている	C:あまり上がっていない	D:上がっていない		
事業の効率性	A:高い	B:やや高い	C:やや低い	D:低い		
事業の方針	A:拡大	B:現状のまま継続	C:改善後継続	D:統廃合	E:休止	F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想により、校内無線LANによる施設整備を行いました。校内無線LANは、ICT機器であるパソコンを活用した授業や学習を進めていくためにも必要不可欠な設備であることから、授業に支障をきたさないよう維持管理に努める必要があります。 ・学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、安全で安心して学習できる環境整備が必要不可欠です。また、非常災害時において学校体育館は避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割があります。日常のみならず、災害時においても十分な安全性・機能性を確保し、学校施設が常に健全な状態を維持できるよう、適切に維持管理を行う必要があります。 ・令和2年度に策定した公共施設等総合管理計画による個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、維持管理計画の実行や施設整備体制の構築により、財政的な負担を縮減し、修繕費や工事費の平準化を図る必要があります。 ・学校遊具や体育館におけるバスケットボールゴール器具の老朽化や劣化により、事故が発生しないよう、安全基準に基づいた点検を実施していますが、基準を満たさない場合は早急に改修を行わなければなりません。施設同様、計画的な修繕や交換を行う必要があります。 ・学校備品などについては、財政状況並びに長期的計画に照らし合わせながら学校の実情に応じて計画的に購入する必要があります。また、施設の維持管理と同様に財政負担に対する平準化を図る必要があります。
--

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想により、パソコンが子ども1人に1台配備されているが、子どもたちのメディアリテラシー面が心配であるため、日頃の学校における授業等とおして、しっかり指導をお願いしたい。 ・GIGAスクール構想における課題は、始まったばかりで把握しきれないことも多いと思うが、課題をしっかりと把握し取り組むとよい。 ・校内無線LANの不調により、授業や教育活動に支障をきたさないよう、維持管理に努めるとよい。 ・施設の老朽化にともなう事故が発生しないよう、日頃からの施設点検・維持管理に努めるとよい。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	地域や子どもたちの実態に応じた活力ある学校づくりの推進
主要施策	義務教育の振興(学校給食)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 学校給食費無償化事業	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世代の経済的な負担を緩和することを目的に、7月から学校給食の無償化を実施し、同時に給食費の公会計化を開始しました。</p> <p>無償化を実施したことにより、保護者の経済的な負担の軽減が図られ、教職員が担っていた保護者からの給食費の徴収や、未納金の督促等の対応負担の解消に繋がりました。</p> <p>【無償化となった給食費】小学生255円/1食、中学生285円/1食</p>
事業費 55,473千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
2 食育の推進事業	<p>児童生徒に魅力的で美味しい給食を提供し、食に対する関心が高まり、食育の推進に繋がるよう、小学校の読書週間に合わせた本と給食のコラボ給食や、アニメ鬼滅の刃をイメージした「鬼滅の刃給食」、給食日本旅行を実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、例年実施していた料理教室や、給食時の学校訪問、PTA試食会は中止しました。</p> <p>【コラボ給食】10回実施【給食日本旅行】5回実施</p>
事業費 千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= A
3 給食職員の資質の向上	<p>衛生管理や調理設備の操作研修の実施、学校給食衛生管理研修会等への参加により、調理職員の知識や意識の向上を図っています。安心安全で美味しい給食を安定して提供できるよう、調理員がローテーションで調理工程を受け持ち、調理技術の向上に努めています。</p> <p>調理員13名の内、8名が調理師免許、3名が管理栄養士免許を取得しています。</p>
事業費 10千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= B 効率性= B 方針= B
4 地産地消推進事業	<p>地元の生産者団体を通じて、町内産の野菜、味噌、米を購入し、学校給食に活用し、地産地消を推進しています。年度当初に生産者と年間の出荷予定を確認し、計画的な地元食材の活用をしています。伝統料理であるおにかけうどんに地粉を使用したり、ブルーベリーの手作りジャムの給食も継続して行っています。</p>
事業費 419千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= B 方針= B
5 食物アレルギー対応業務	<p>食物アレルギーの反応がある児童生徒は27名、他に牛乳飲用不可の児童生徒は29名でした。アレルギー専任栄養士を配置し、『学校生活管理指導表』に基づき、代替食の献立作成から調理、個別の受け渡しまで対応しています。学校や保護者との連絡・確認を徹底し、栄養教諭とアレルギー専任栄養士が二重チェックを行い、提供誤りのないよう取り組んでいます。</p>
事業費 1,143千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
6 施設・設備の修繕業務	<p>施設管理については、電気保安業務や厨房機器保守業務等、11業務を委託契約し、給食の調理や、食器・食缶の洗浄作業に影響が出ないよう、定期的な保守点検を行いました。</p> <p>開設から10年経過し、施設や設備の経年劣化による不具合や故障が多くなっていますが、その都度、給食調理に影響がないよう対応しました。</p>
事業費 3,778千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= A 方針= B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

・新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世帯の経済的負担を緩和することを目的に、学校給食費無償化を実施し、今後においても子育て支援策として、給食費の無償化の継続を検討していく必要があります。
・学校給食を通して食育の推進を図っており、給食時の学級訪問を通して、栄養教諭や調理員が児童・生徒と意見交換をすることによって、給食づくりに反映していきます。
・調理後の反省会や毎月の献立会議を通して、献立の工夫と調理の改善を行い、より美味しい給食の提供に努めます。
・共同調理場では、調理員13名が班編成をし、日々の作業を組織的に行うことで、一人ひとりの作業技術の向上や効率化を図り、今後も安定した給食の提供を行っていきます。また、調理・洗浄作業はとても重労働であるため、作業中の安全等に十分配慮する必要があります。
・調理員の離職等により、給食の提供に影響がないよう、調理員・代替調理員の確保に留意していく必要があります。
・地元で生産される食材を積極的に取り入れ、地産地消の推進を図ります。
・食物アレルギーのある児童生徒が、今後も安心して食べられる給食を提供していく必要があります。
・施設や厨房機器の老朽化が進むことから、今後も定期点検を行い適切な維持管理を行っていく必要があります。

5. 識者からの意見

・以前、共同調理場を見学させていただいたが、衛生面や調理業務においてもしっかり管理されており、アレルギー食についても丁寧な配慮がされていた。学校給食は子どもたちのためにも止めることのできない必要不可欠なものであるため、引き続き給食業務を行うとよい。
・コロナ禍で家計の苦しいご家庭もあると思われるため、給食費の無償化を続けるとよい。
・食中毒やアレルギー等の事故がないように、安心安全な給食を引き続きお願いしたい。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(総合的な学習機会の提供)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 社会教育推進事業	生涯学習は、公民館長(会計年度任用職員)を配置し、学級講座、学習会、講演会、公民館活動、コンサート、展覧会など数多くの事業を計画し、学習機会の推進を目指しましたが、新型コロナウイルスの影響により、多くの活動を自粛しました。 26団体の生涯学習関連グループや各分館活動への支援を行っています。
事業費 6,464千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=B 効率性=B 方針=B
2 しめなわ作り教室	日本古来からの伝統行事の継承とともに、新年を自分で作ったしめなわで迎えてもらうことを目的に行っています。12月19日に開催し、参加者は40名でした。
事業費 20千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=B 効率性=B 方針=B
3 歴史講座 歴史の旅	日本の歴史等を講義で学ぶことと、現地を訪れ理解を深めることを目的に行っています。 計画した1回目の講座は中止としましたが、2回目をオンラインで実施することができました。 ①1月16日(土) 新型コロナウイルスの影響により中止 ②2月20日(土)「信濃と万葉集」講師:土佐 秀里 氏 参加者:40名 歴史の旅:中止
事業費 20千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=B 効率性=B 方針=B
4 いきいき学級	性別を問わず、いきいきと暮らしに張りりと潤いをもって、人づきあいを楽しむことを目的に行っています。 視察研修①中山道を巡る 参加者:15名 ②尖石縄文考古館(茅野市) 参加者:23名 講座「音楽はこころへのおくりもの」講師:西巻 靖和 氏 参加者:35名
事業費 38千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=B 方針=B
5 きなんしまつり	生涯学習グループ及び各団体が、作品を展示し発表を行うなど、日頃の成果を発表することで、各団体の魅力を伝える場として定着していますが、新型コロナにより中止しました。
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=- 効率性=- 方針=B
6 書初展	各分館の書道学級に所属している方、南北小学校3年生～6年生の児童、町内の書道愛好者の書初作品の展示会を実施しています。開催期間:2月19日～3月7日 出展数:637点 密を避けるため、期間を3回に区切り、エントランスホールにて開催しました。 1月5日(土)あつもりホールにて書初め講習会を開催 講師:中山 明 氏 参加者:30名
事業費 15千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=A 効率性=B 方針=B
7 ピアノリレーコンサート	町内のピアノ愛好者によるピアノコンサート。あつもりホールにあるスタインウェイのピアノを多くの方に演奏してもらい、観客にもその音色を楽しんでもらうことを目的に行っています。 3月7日(日) 参加者:54組65名
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性=B 妥当性=B 成果=B 効率性=B 方針=B
8 理科読講座	楽しみながら読書や科学に興味を持ってもらうため、本の読み聞かせと科学の実験を行う講座です。NPO法人ガリレオ工房から講師を招き、小・中学生を対象に夏休み期間中に実施予定でしたが、新型コロナにより中止しました。
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性=B 妥当性=B 成果=- 効率性=B 方針=B

9 エコールサロンコンサート	町民の方に生演奏の音楽を気軽に聞き素晴らしさを感じてもらうため、町内及び近隣市町村で活躍する方の無料コンサートを9月～11月の第4土曜日の17:30～18:00に開催しました。
	1月23日(土)新春サロンコンサート:中止
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=B 成果=A 効率性=A 方針=B
10 ヨガ教室	子育て世代を中心に様々な世代間で交流を図ることを目的として開催しています。
	「地域のゆとりヨガ教室」:10:00～11:00 7月～2月(火)(木)開催…(2～3回開催/1月)
	参加者:子ども(生後2カ月以降)連れも可。
	「リラックス・リフレッシュヨガ教室」:18:30～19:30 7月～2月(金)開催…(2～3回開催/1月)
	参加者:保護者同伴であれば小学校高学年から可。
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性=B 妥当性=B 成果=B 効率性=B 方針=B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した事業が多くありましたが、新たな試みとして、歴史講座やヨガ教室をオンラインで実施し、学習機会の継続を目指しました。
<p>今後も感染状況等に配慮しながら、既存事業の内容等の見直しを含め、新規事業の実施など地域社会に密着した学習活動の拠点として、一層の機能向上に努めます。また、各地区での生涯学習の要となる分館を対象とした研修会等を実施し、生涯学習の必要性についての周知に努めます。</p>

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> 分館長も仕事に就いている人が多いため、分館活動に関われる時間も乏しいと思われる。分館で行事を行う際、どのようしたら人が集まるのか、町教育委員会から具体的な方針を打ち出してもらえるとありがたい。 分館によっては、どのような行事や研修を開催した方がよいか悩んでいる場合もあるため、町教育委員会から研修などのメニュー等を作成してもらえると、各分館で主催する行事において活用することができる。 地区社会福祉協議会と公民館の繋がりは非常に重要であるため、町教育委員会からより一層関係が深まるよう誘導してもらえるとよい。 コロナ禍であるものの、地域に密着した学習はとても重要であり、子どもたちに地域の良さを知ってもらうことは大切であるため、公民館事業をとおした人材育成に努めるとよい。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(広報活動)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 公民館報発行事業	生涯学習及び公民館活動について、分館長や参加者の声とともに情報発信することで、その必要性や楽しさをアピールするとともに、関連施設の利用及びイベントの参加促進などにもつながるよう取り組んでいます。 広報「やまゆり」やエコール事務所入り口にも、募集記事や活動報告を載せ事業の魅力を伝える活動に取り組んでいます。 公民館報発行回数:年2回(10月・4月)、発行部数:5,250部(広報やまゆりに掲載) 令和2年度はコロナの影響で例年通りの公民館活動ができなかったため、館報に活動に参加している委員や先生、子どもたちの意見文を掲載しました。参加者の意見を紹介することで、講座の楽しさを新しい形で伝える良い機会となりました。 また、公民館グループの紹介ページを作り、各団体の写真と活動内容を掲載しました。実際の活動風景や作品を紹介したことにより、会員増加につながりました。 令和元年度から開始したSNSについては、引き続き講座募集や、活動状況等の紹介に活用し、公民館事業のPRにつなげています。
事業費	120千円 (事業の自己評価) 必要性 = A 妥当性 = A 成果 = B 効率性 = B 方針 = B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> 公民館報等で情報発信を行うことで、その必要性や楽しさを伝えていますが、参加者や年齢層の固定化が進んでいます。館報や町ホームページに加え、SNS等を活用した情報発信にも取り組み、若年層にも関心を持ってもらえるような広報活動を実施する必要があります。

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> 町教育委員会が実施する公民館活動は、住民の生涯にわたる学習活動のためにも大変有効であるため、継続した積極的な広報活動の継続をお願いしたい。 SNS等を活用した情報発信は大変有効であるため、特定の年代だけではなく幅広い年代の方々にも興味や関心を持ってもらえるよう、公民館活動の情報発信に向けて更なる充実を図るとよい。
--

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(人材バンクによる支援)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 人材バンク事業	「人材バンク」登録者は48名であり、各種講座の講師を依頼したり、学校等からの照会により情報を提供するという仕組みは当初のまま継続しています。 学校側から支援を希望する学習等について、必要な人材の確保に努め「人材バンク」の充実を図る必要があります。 グループ連絡会、区長会等開催に合わせて、人材バンクへの登録についてPRを実施しました。 前年度に引き続き、北小のスケート教室において、登録者に講師として参加いただきました。
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性 = A 妥当性 = A 成果 = B 効率性 = B 方針 = A

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> 国では国型コミュニティースクールへの移行を推進しているため、今後、学校運営協議会の設置の検討が必要となります。 令和5年度からの部活動地域移行に向け、人材バンクの体制強化に努める必要があります。

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> 人材バンクの登録名簿は、町社会福祉協議会の人材バンクと町教育委員会がお互いに共有することで有効に活用できるよう連携するとよい。人材バンクの活用のためにも登録者の充実を図るとよい。 コミュニティースクールの関係からも学校側が要望する人材を紹介できるよう、学校と連携して進めるとよい。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(貸館事業)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 複合文化施設維持管理事業	複合文化施設の維持管理により環境整備を行い、施設を学習機会や活動の場として提供し、生涯学習活動等の充実を図っています。 複合文化施設開館日数269日、利用件数1,500件、利用者数19,810人、日平均利用者数74人。新型コロナウイルス感染拡大防止による閉館等の影響により、前年度に比べ大幅な減少。 施設維持管理は、貸館業務、清掃業務、設備の保守管理業務など22業務を民間委託。 【施設修繕】トイレ改修工事:既存洋式交換10か所、洋式化8か所[7,238千円] 耐用年数経過による既存洋式トイレの交換及び和式から洋式への改修工事を行いました。
事業費 42,406千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> 前年度に比べ、利用者は18,840人減少し、それに伴い使用料収入も1,419千円減の1,614千円でした。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4月、5月を休館としたこと、また感染状況により利用を町内在住者や県内在住者に限ったことにより大幅な減となりました。今後も感染状況等に注視しながら、利用者が安心して施設を利用できるような運営の実施、さらにアフターコロナを見据え、利用者増加に向けた対策を講じていく必要があります。 令和2年度に策定した公共施設等総合管理計画による個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)に基づいて計画的に修繕や工事を行うことで、施設を適切に維持管理していく必要があります。
--

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者の増加が見込めない状況ではあるが、適切な対策を講じた上で、貸館業務を行えるよう、日頃から準備しておくことよい。感染状況を見ながら、安心して利用できるよう利用者にアピールすることも必要である。 利用者が気持ちよく安心して利用できるよう、複合文化施設の維持管理や環境整備に努めるとよい。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(子育て支援)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 青少年問題協議会	7月に御代田駅前街頭啓発運動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代わりに中学全校生徒に啓発物品を配布しました。 広報へ青少年健全育成に関する記事を掲載しました。
事業費 25千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= B 効率性= B 方針= B
2 こども自然探検隊	小学生を対象に学校・学年を超えた野外活動を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。
事業費 27千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= - 効率性= A 方針= B
3 なんでも体験隊	幼児～小学生の子どもをもつ家族を対象に、農作物の栽培や収穫を通じて食べ物を慈しみ、楽しみながら学ぶ体験教室を行っています。5月の苗の植え付けから始まり、各々のペースで収穫を楽しむ様子が見られました。10月にはハロウィンかぼちゃの制作を行いました。 参加親子12組、年7回実施 平成26年度から運営委員を町農業青年団体「浅間クラブ」にお願いし、交流しています。
事業費 30千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
4 少年少女合唱団「つばさ」	小中学生を対象に学校・学年を超えた歌声と自主性を引き出す合唱活動を行っています。 登録児童数21名、練習年16回実施。 3月21日(日)つばさコンサート 観客:105名
事業費 131千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
5 こども生け花教室	小学生～中学生を対象に、生け花を通して、情緒豊かな人格形成を図ることを目的に行っています。登録児童数18名 10月～3月の第2・4土曜日に実施(計10回) 3月20日～24日 華展開催
事業費 47千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= A 効率性= A 方針= B
6 親子ふれ愛料理教室	小中学生の子どもをもつ家族を対象に、親子での調理実習を通し、食への関心を深めるとともに、世代間の交流を図ることを目的に行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。
事業費 21千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= - 効率性= A 方針= B
7 キックベースボール大会	小学生を対象に行政区毎に、学年を超えて交流を図ることを目的に行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= - 効率性= B 方針= B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

- | |
|---|
| •新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業が多くありましたが、感染状況に配慮しながら |
| 各事業の再開を目指しました。コロナ禍ではありますが、できることを探りながら事業を展開していく必要があります。 |
| •関係課と連携を図り、地域の豊かな社会資源を活用した土曜日や夏休み期間中の子どもの居場所づくり等、学校、 |
| 家庭、地域が連携して子どもたちの成長を支える事業の推進を図る必要があります。 |
| •生涯学習では、学習成果を様々な活動に役立てることにより、社会全体が豊かになることを期待しています。そのため、 |
| 各種事業の卒業生が委員やサポーターとして参加していく仕組みを発展させていく必要があります。 |

5. 識者からの意見

- | |
|---|
| •コロナ禍ではあるが、出来ることを探りながら事業を展開してほしい。 |
| •さまざまな事業(講座)を展開しているので、大勢の子どもに参加してもらえよう取り組んでほしい。 |
| •それぞれの事業が継続であるため、継続とコロナ禍での変化の両立を踏まえて中身を検討する必要がある。 |
| |
| |

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育む文化のかおるまちをつくります
基本方針	いきいきとした生活を楽しむための充実した生涯学習の推進
主要施策	生涯学習の推進(図書館)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 図書館運営事業	<p>蔵書数 102,914冊 利用者数 14,671人 貸出数 63,543冊</p> <p>図書の貸し出し以外にも、ミニコンサート等各種館内イベントの開催を計画していましたが、新型コロナの影響から多くのイベントを中止する中、秋の朗読会はWeb配信で実施しました。(視聴回数730回)イベントを通して、図書館を身近に感じ活用していただけるよう企画運営してきました。</p> <p>選書、予約やリクエストの受付、相互貸借、レファレンスなど、サービスの充実はもちろん、テーマ展示の充実・読書週間の「しおりプレゼント」など、読書に興味を持てるような工夫をスタッフ一同で考え実行しています。</p>
事業費 11,994千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=B 効率性=B 方針=A
2 読書推進事業	<p>「小さいおともだちのおはなし会」「おはなし会」・・・ボランティアの協力を得て、継続して行いました。(延べ参加者数:248名・・・ボランティア総会資料より)</p> <p>「ブックスタート事業」・・・人生初の絵本となるよう10か月健診で絵本の引き換えチケットを配布し、図書館に来館いただき絵本を1冊ゆっくり選んでいただいています。</p> <p>「セカンドブック事業」・・・昨年に引き続き小学1年生に学級文庫を寄贈。(1クラス35冊)</p> <p>「ほんわかひろば」・・・偶数月の最終木曜日の館内整理日には、子育て世代の方々に限り図書館を開放し、お子さんの声などを心配することなく選書いただけるよう実施しています。親同士の交流の場としてもご利用いただいています。</p> <p>「児童館出前読み聞かせ」・・・毎月、町内2児童館で小学1年生対象。とても賑わっています。また、「ひだまりっこ」にも出向いておはなし会を行うなど、親子で本に親しむ機会をつくり、小さい頃からの読書習慣の形成につながるよう努めています。</p> <p>「地区社協主催事業での朗読会」・・・地区サロンなどでのイベントに出向き、熟練したボランティアの協力を得て朗読を行っています。</p> <p>「ちいさな朗読会」・・・毎月第3水曜日に、朗読ボランティアの協力を得て開催しています。</p> <p>「学校図書館との連携」・・・学校司書連絡会を実施、意見交換を行いお互いの参考にしました。(7月・3月に実施)</p>
事業費 500千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=A 成果=B 効率性=B 方針=A

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性が高まるような図書館運営や利用者の要望に対応できるレファレンスの資質向上に一層努めます。 ・新型コロナの影響によりイベントは中止や規模縮小ですが、図書館を安心・安全に利用できるよう体制を作ります。 ・利用者の需要にかなった選書により、様々な分野で過不足無いよう蔵書を補充します。 ・子どもが読書習慣を身に付けるため「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催すると共に、学校図書館との連携を図り、本を読みやすく調べやすい環境整備を進めます。

5. 識者からの意見

- | |
|--|
| ・児童館において、図書館司書による毎月の読み聞かせや、令和2年度から実施している町図書館から児童館に毎月50冊ずつ貸し出しを行ってもらっているが、これは子どもたちからも評判がよいため、継続をお願いしたい。 |
| ・コロナ禍ではあるが休館にはせずに貸し出しのみを行うなど、利用者にとって本に触れる機会があり大変よい。 |
| ・各学校の図書館に学校司書がいることから、学校図書館との更なる連携を図るとよい。 |
| ・高校生になると図書館の利用は少なる傾向があるため、高校生や社会人になっても町立図書館を利用してもらえるような習慣づげができるとよい。 |

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	スポーツへの主体的な取り組みの推進
主要施策	生涯スポーツの振興

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 生涯スポーツ普及・振興事業	スポーツ推進委員の協力を得て、次のイベントを社会体育事業として開催しました。 この他には、補助金交付団体であるスポーツ協会でも大会や教室を開催しています。 ・7月18日:ちびっこ裸足で運動会 ・8月2日:みんな裸足で運動会 ・11月1日:町民マラソン大会 ・12月5日:小学生スポーツ交流会 ・10月4日:町民大運動会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
事業費 1,528千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= C 効率性= C 方針= C
2 運動が習慣化されていない住民を対象とした取組推進事業	スポーツ推進委員による学校や保育園に運動の指導を実施しています。 また、10月25日にスポーツ推進委員5名が参加し「ニュースポーツ体験会」を開催しました。
事業費 201千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= C 効率性= C 方針= A
3 スポーツ指導者等の育成・研修支援事業	スポーツ推進委員が以下の会議等に参加しました。 ・佐久地区スポーツ推進委員研究協議会総会(4/13):2名 ・佐久地区スポーツ推進委員代議員会(4/7、2/18):各1名 ・佐久地区スポーツ推進委員女性委員会(2/13):1名
事業費 12千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= C 効率性= C 方針= C
4 関係各課と連携した生涯スポーツ事業	保健福祉課で実施している老人スポーツ大会の運営に関する相談や、当日の運営に協力していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= B 成果= - 効率性= B 方針= C

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数や利用件数が10年近く減少し続けている中で、有効な対策や事業展開を早急に検討する必要があります。 スポーツ推進委員会の活動をより活発に行う必要があります。 スポーツ指導者等の育成及び研修支援が不十分であるため、計画的な事業実施に努めます。 関係各課とより積極的な連携・協力体制を整備するよう努めます。

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員の存在を知らない町民もいるため、学校や児童館以外でもスポーツ推進委員の活動が幅広く周知できるような取り組みをするとよい。 スポーツに対する興味・関心を持ってもらうことは、施設利用者の増加に繋がるため、有効な対策を検討してほしい。 指導者の育成は、すぐには成果が上がらないため、長い目で判断をする必要がある。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	スポーツへの主体的な取り組みの推進
主要施策	生涯スポーツの振興(スポーツ団体育成・支援)

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 団体の育成・支援事業	令和2年度は、例年と同様の事業を実施しました。 主な事業内容は、スポーツ協会への補助金の交付と事務局支援。スポーツ協会やスポーツ連盟が主催する大会等に係る施設使用料の減免などです。
事業費 2,700千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= B 成果= C 効率性= C 方針= B
2 会場借上事業	スポーツ少年団(カーリング)が使用するカーリングホールの会場借上料を、上限額を年間220万円として支出しています。
事業費 2,058千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= C 成果= B 効率性= C 方針= B
3 全国大会等参加者 激励金支給事業	現段階での支給基準では、北信越大会以上の出場権利を得た選手が申請された場合に支給しています。ただし、予算の範囲内によるとなっておりますが、当初予算で500千円計上し、不足する場合には、随時増額補正をしています。 北信越大会10,000円、全国大会20,000円、世界大会30,000円となっております。 ・北信越大会： 8名 80,000円
事業費 80千円	(事業の自己評価) 必要性= B 妥当性= B 成果= B 効率性= C 方針= B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> 現在、町からスポーツ協会に2,700千円の補助金を交付し、その内スポーツ協会の傘下であるスポーツ少年団へは700千円が補助されています。しかし、スポーツ少年団を含むスポーツ協会の会員数は減少している状況であることや、総合型地域スポーツクラブや各種連盟との公平性等も考慮して、今後の対応の検討が必要です。

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> 全国大会等の上位の大会に進んだ方は広報やまゆりに掲載されているが、スポーツ少年団の活動している様子も広報やまゆり等に掲載することで、団員の増加に繋がると思われる。 町の生涯スポーツ振興として、各種スポーツ事業の実施や広報活動を行うためにも、団体の育成・支援事業を継続することが望ましい。 町としてのスポーツに対する考え方を決定して、それに応じた予算配分が必要である。 激励金支給事業は、スポーツ活動を行う上で大変励みとなるものであるため、継続することが望ましい。
--

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	スポーツへの主体的な取り組みの推進
主要施策	スポーツ施設の整備

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 施設の維持管理事業	施設の日常的な清掃業務等をシルバー人材センターに一部委託しています。
	日頃の施設点検はできる限り行い、利用者の安全確保や利便性を図りました。
	既存施設は築20年以上が経過しており、経年による老朽化に伴う施設修繕費が毎年増加傾向にあり、突発的な破損や損壊、機能不良などは、その都度予算化し、出来るかぎり修繕に努めました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設管理委託(委託先:シルバー人材センター):7,794千円 ・消防設備保守点検委託(委託先:長野県パトロール他):185千円 ・火災盗難集中警備委託(委託先:長野県パトロール):555千円
事業費 18,005千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=B 成果=B 効率性=B 方針=B
2 施設改修計画事業	各施設が全般的に老朽化し、施設修繕費も毎年増加傾向にあります。各施設の利用状況を調査し、庁内関係部署との検討会議を開催しました。
事業費 0千円	(事業の自己評価) 必要性=A 妥当性=B 成果=B 効率性=B 方針=A

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の経年による老朽化に伴う施設修繕費が年々増加しています。 ・施設利用率の改善を図りつつ各施設の改修又は建て直しについて、計画的かつ長期的に精査・検討を進めます。 ・適正な施設管理を行うために、職員が研修会や講習会に参加をし、知識や技術、資格の習得が必要です。

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設としてだけでなく、災害時には避難施設としても活用するため、施設整備や維持管理に努めるとよい。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	文化・芸術の織りなす地域づくりの推進
主要施策	文化・芸術の振興

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 博物館事業	<p>博物館事業は、常設展示・企画展示・体験学習活動の3つの柱からなっています。</p> <p>常設展示は、国重要文化財焼町土器と浅間山麓の縄文文化とともに、浅間火山がテーマです。</p> <p>企画展では「うずうづ展」、「石棒展」、「御代田の文化財展」を実施しました。</p> <p>対面の講演会は「東日本の石棒」「サピエンス日本上陸」を実施しました。</p> <p>コロナ禍により令和2年度の来館者は7,080名で、元年度の来館者38,045名より、30,965人の減でした。</p> <p>コロナ禍に影響されない事業として、インターネットを活用した講座などを、新しい取り組みとして実施しました。Zoom郷土講座(8回)、オンライン講演会(2回)を行いました。</p> <p>また、SNS投稿によるフォトコンテストを実施し、九州から北海道まで多くの応募者がありました。</p>
事業費 11,261千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B
2 文化財保護事業	<p>埋蔵文化財保護事業では、塩野の広畑遺跡の整理作業を実施しました。</p> <p>このほか、太陽光発電や宅地分譲など開発に伴って破壊の懸念される町内の埋蔵文化財の立会調査や試掘調査事業を行いました。</p> <p>一般文化財保護では、国・県・町指定の文化財の維持管理、ふるさと納税を利用した脆弱な縄文土器の修理、蒸気機関車D51の整備・公開、長倉・諏訪神社の森の倒木伐採などの補助事業を行いました。</p>
事業費 5,029千円	(事業の自己評価) 必要性= A 妥当性= A 成果= B 効率性= B 方針= B

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A: 増加している B: 横ばい C: 減少している
事業の妥当性	A: 妥当である B: ほぼ妥当である C: あまり妥当ではない D: 妥当ではない
事業の成果	A: 上がっている B: やや上がっている C: あまり上がっていない D: 上がっていない
事業の効率性	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い
事業の方針	A: 拡大 B: 現状のまま継続 C: 改善後継続 D: 統廃合 E: 休止 F: 廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> 県内外から子供たちを含めた多くの方々が浅間高原の歴史や文化・芸術にふれ、その魅力を感じていただき、豊かな知識や心を育んでもらうことが博物館事業の課題ですが、令和2年度は、コロナ禍による入館者の大幅減となりました。ネット講座など新たな取り組みが課題となります。 一般文化財および埋蔵文化財など文化財保護事業では、貴重な自然・文化・歴史遺産が損なわれることがないように、よりベストな状態で維持・管理を行い、また普及啓発活動も重要と考えられます。 こうした文化財保護事業は、博物館展示などとリンクして実施することも必要な課題や改善策と考えられます。

5. 識者からの意見

<ul style="list-style-type: none"> 町民や来館された方々が文化芸術への関心を深められるよう、引き続き取り組みをすとい。 コロナ禍で難しさはあるかもしれないが、町内の小中学生が縄文文化への関心を高められるよう更に取り組むとい。

教育委員会 事業評価表

1. 施策の体系<御代田町長期振興計画>

施策の柱	次代・郷土を担う人を育み文化のかおるまちをつくります
基本方針	次代・郷土を担う人材育成
主要施策	奨学金制度の見直し

2. 施策に該当する事業

事業名	事業の内容(対象、実施状況、結果等)
1 奨学金貸与事業	<p>奨学金貸与事業は、人材の育成と教育の機会均等の窓口を広げることを目的として、平成10年度から25年度までに57名の生徒・学生が奨学金を利用しました。</p> <p>制度発足から10数年経過し、国の施策や民間の教育資金、各大学の奨学金制度など、さまざまな選択肢があります。</p> <p>加えて、申請者の減少や一部の貸与者の償還金に滞納が生じてきているなどの理由により、平成25年度をもって新規の奨学金貸与事業を休止しています。</p> <p>【奨学金貸与人数】 57名（高校生：2名、短大生：2名、大学生：53名）</p> <p>【奨学金貸与総額】 89,920千円</p> <p>【最終償還年度】 令和5年度</p>
事業費	0千円 (事業の自己評価) 必要性=C 妥当性=B 成果=D 効率性=C 方針=E

3. 事業評価の凡例

事業の必要性	A:増加している B:横ばい C:減少している
事業の妥当性	A:妥当である B:ほぼ妥当である C:あまり妥当ではない D:妥当ではない
事業の成果	A:上がっている B:やや上がっている C:あまり上がっていない D:上がっていない
事業の効率性	A:高い B:やや高い C:やや低い D:低い
事業の方針	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善後継続 D:統廃合 E:休止 F:廃止

4. 施策に対する現状の課題、改善策等

<p>・日本学生支援機構、日本政策金融公庫の奨学金、各大学の奨学金制度や金融機関の教育ローンなど学資資金の調達に際し、様々な選択肢があることなどにより利用者が減少した経過があります。このことから、町の奨学金貸与事業については、総合的に判断し、平成25年度をもって新規受付を休止、28年度をもって貸与を終了しています。</p> <p>現時点では、全て奨学金が償還された時点(令和5年度)で奨学金の貸与事業を廃止にする方向としています。</p>
<p>・日本学生支援機構では、令和2年度からの入学予定者に対し、新しい修学支援制度(給付型奨学金、授業料・入学金の減免)が始まるなど、新たな取り組みを進めています。近隣では、給付型の奨学金を実施している自治体があるものの、寄付金を財源として実施しています。給付型奨学金となると、寄付金などの財源がないと実施は困難ですが、今後の学生を取り巻く状況や景気の動向、他自治体の動向に注視しつつ、今後の方向性(新たな奨学金制度もしくは廃止)について判断していく必要があります。</p>
<p>・町の奨学金だけでなく、さまざまな実施主体による貸与型の奨学金がある中、返還に伴う利用者の負担軽減に向け、返済を「肩代わり」する奨学金返還支援制度を導入している自治体があります。給付型奨学金制度と同様に、学生を取り巻く状況や景気の動向、Uターンしてもらうための仕組みづくり、定住対策、あるいは企業が求める人材の確保の必要性が生じた場合など、様々な状況を踏まえ判断していく必要があります。</p>

5. 識者からの意見

<p>・町にUターンやIターンをする方を対象とした補助があるとよい。</p>
<p>・財源確保は課題ではあるものの、クラウドファンディングやふるさと納税を活用した財源なども考えられるため、近隣市町村の動向を注視しつつ、検討してほしい。</p>

Ⅲ 教育委員会活動

1. 組織体制（令和3年3月末時点）

教育長1名
 教育委員4名（職務代理者1名・委員3名）
 事務局及び教育機関等の職員
 教育次長1名・参事2名
 係長以下正規職員15名・その他職員55名

2. 委員会の活動概要

（1）委員会の会議

定例会（月1回、月末頃）及び臨時会を開催し、学校教育及び社会教育等について審議をしました。御代田町教育委員会傍聴人規則に基づき、会議を公開しています。

会議名	開催回数	議案件数	報告事項件数	その他
定例会	12回	24件	15件	49件
臨時会	1回	1件	0件	0件
総合教育会議	2回	6件	0件	0件

（2）視察研修等

法律の改正や国の教育改革が推進される中、教育行政への共通認識を図るとともに、教育の諸課題への解決に向けた視察研修等を例年実施しているところです。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のため、視察研修は全て中止になりました。

視察研修等名	期 日	場 所
佐久地区市町村教育委員会連絡協議会研修総会	中止	長野県小諸市 東信教育事務所
全国町村教育長会	中止	東京都中央区 銀座ブロッサム
関東甲信越静市町村教委連合会研修会	中止	千葉県市原市 市原市市民会館
長野県市町村女性教育委員連絡協議会研修会	中止	長野県飯山市 —
長野県町村教育長会研修総会	中止	長野県飯綱町 —
県教育委員会と佐久地区教育委員会懇談会	中止	長野県小諸市 東信教育事務所
長野県市町村教育委員会連絡協議会研修総会	中止	長野県千曲市 —

(3) 教育委員等の学校訪問

教育委員や主幹指導主事が学校を直接訪問し、学校の現状や教職員の考え方等を把握するとともに、学校側の町教委に対する要望等を聴取し、教育行政の充実に資することを目的として実施しました。

訪問校	期 日	内 容
北小学校	9月16日 他	授業参観及び教職員との懇談等
南小学校	9月23日 他	授業参観及び教職員との懇談等
中 学 校	9月16日 他	授業参観及び教職員との懇談等

(4) 教育長・教育委員の関係行事等への出席

教育長並びに教育委員が教育委員会で実施する総会や行事等に参加することにより、事業の実態を把握し教育行政の充実に資することを目的としています。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者数が多くなる事業については規模を縮小しての実施もしくは中止にしました。

期 日	主な行事等	期 日	主な行事等
4月1日(中止)	辞令交付式・転入教職員訪問	10月20日	第1回教育支援委員会
4月4日	小・中学校入学式	11月1日	町民マラソン大会
4月17日(中止)	北小・南小学校PTA総会	11月1日(中止)	青少年健全育成街頭啓発運動
4月24日(中止)	中学校PTA総会	11月7日(中止)	きなんしまつり芸能発表会
5月3日(中止)	各区対抗365歳野球大会	11月17日	第2回教育支援委員会
7月1日(中止)	青少年健全育成街頭啓発運動	12月5日	小学生スポーツ交流会
7月下旬(中止)	児童生徒事故防止のための通学路点検	12月13日	博物館講演会
7月18日	ちびっこみんな裸足で運動会	12月20日	夢サポート塾保護者セミナー
7月27日(中止)	町内三校合同研修会	12月23日	文化財審議委員会
8月2日	みんな裸足で運動会	1月3日(中止)	成人式
8月7日	第三の居場所事業 勉強会(講演会)	1月26日	中学生模擬議会
8月14日(中止)	各区対抗野球大会	1月28日	第3回教育支援委員会
8月14日(延期)	成人式	3月6日	図書館利用者懇談会
8月26日	教育委員会事務評価委員会	3月17日	小学校卒業証書授与式
8月28日	第1回総合教育会議	3月18日	中学校卒業証書授与式
8月29・30日	夢サポート塾保護者説明会	3月19日	社会教育委員会議
10月25日	ニュースポーツ体験会	3月25日	第2回総合教育会議
10月4日(中止)	町民大運動会	3月26日	共同調理場運営委員会